

(別添資料1)

事業所名

放課後等デイサービスYUEN長丘

支援プログラム

作成日

2026年

4月

1日

法人（事業所）理念		運動を軸にした療育を通じて、協調性や挑戦する力、努力する楽しさを学び、「子どもたちの未来をより豊かに」というスローガンのもとで、健やかな成長をサポートしていく。					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・運動を通じて、諦めずに挑戦し続ける力を身に付け、「できた!」という成功体験を積み重ねることで自己肯定感を高める。 ・グループでの活動を取り入れることで仲間と協力しながら表現力や協調性を養い、社会的なスキルを身に付ける。 科学的なコミュニケーションスキルの視点からスポーツコーチングを活用し、家庭や施設と連携した子どもへのサポートを行う。 運動、芸術、職業体験、国際交流、ボランティア活動など様々なイベントから子どもたちのやりたいこと、楽しいことを見つける機会を提供。心の豊かさ、しなやかさを育む					
営業時間		10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○活動時間や内容を事前に伝えることで、見通しの持った行動ができるようにする。 ○広々とした施設の中で身体を動かすことで、心をリフレッシュさせるとともに、身体の健康を維持できるようにする。 「できた!」という成功体験を積み重ねることで自己肯定感の向上を目指す。 					○
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○コーディネーショントレーニングを通して、集中力向上、姿勢保持力や体幹強化、運動神経の向上を目指す。 ○粗大運動だけでなく、微細運動も取り入れることで五感に刺激を与え、集中力の向上を目指す。 ○個々のレベルに合わせた療育内容を提供することで、それぞれの筋力に働きかけ運動神経の基礎作りを行う。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な形や色の道具を使用することで、指示を聞き適確に判断して行動ができるようにする。 運動療育を通じて、外部環境の中で様々な状況における適切な行動を習得させる。 ○適応力を向上させ、場面に応じた判断や豊かで柔軟な考えの育成を目指す。 					○
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○他児童との言葉を交わす療育内容を提供し言語スキルの向上を目指す。 個々に合わせたプレッシャーを追加することで、状況に合わせたコミュニケーション手段を選択し活用できるようにする。 ○他児童との交流を通して、言語の受容と表出を安定して行えるようになる。 					○
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○グループでの活動を行うことで、集団の中での表現力、協調性などの社会的スキルを身に付ける。 ○他児童との活動を積み重ねることで、人との関わり方やパーソナルスペースを理解して生活ができるようになる。 ○遊びを通じて仲間作りや集団への参加を促すことで情緒の安定を継続させる。 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ○保護者面談を適度に設けながら、本人の事業所での姿と家庭での姿を共有し、その時々に合わせて療育内容で本人と家庭の支援を行っていきけるようにする。 		移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ○新しい環境での生活に安心して通うことができるよう、個々に合わせた声掛けを行う。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ○学校や他事業所などの各関係機関との連携を密に行いながら、本人の療育における具体策を提案し、それぞれの場所から適切に支援を行っていきけるようにする。 		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ○毎月外部コーチによる、科学的なコミュニケーションスキルの観点から見たスポーツコーチング研修を全職員で受講 	
主な行事等		○誕生会（毎月）○避難訓練（5月・11月）○夏祭り○ハロウィン○紅葉祭り○クリスマス会○初詣○節分○ひな祭り					